

事業実績報告

令和6年度



社会福祉法人
希 耀 會

🌸 目次

法人概要	3
------------	---



事業実績（特別養護老人ホーム）	4
事業実績（ショートステイ）	5
重点目標の振返り	5・6・7



事業実績（特別養護老人ホーム）	8
重点目標の振返り	9・10



事業実績（住宅型有料老人ホーム）	11
事業実績（グループホーム）	12
事業実績（小規模多機能ホーム）	13
事業実績（地域密着型デイサービス）	14
重点目標の振返り・総括	14・15



事業実績	16・17
重点目標	17・18
重点目標の振返り	18
事業活動報告	19
年間行事・実習生受入れ実績	20

法人概要

1. 沿革

平成 18 年 10 月 社会福祉法人 希燿會 設立認可
 平成 21 年 3 月 特別養護老人ホーム 花乃路 開設
 平成 21 年 6 月 ショートステイ花乃路(特別養護老人ホーム花乃路併設) 開設
 平成 23 年 4 月 花乃路保育園 開設
 平成 24 年 2 月 特別養護老人ホーム花乃路 「はなれ」開設 20名増床
 平成 24 年 7 月 特別養護老人ホーム あやめ苑 開設
 平成 25 年 2 月 デイサービスセンター花乃路(特別養護老人ホーム花乃路併設) 開設
 平成 27 年 4 月 複合型高齢者施設ベイサイドわかまつ 開設
 令和 2 年 1 月 デイサービスセンター花乃路 廃止

2. 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	定員
社会福祉事業	第一種 社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム花乃路 (管理者：竹井 辰介)	100 名
			特別養護老人ホームあやめ苑 (管理者：山内 勉)	100 名
	第二種 社会福祉事業	短期入所生活介護	ショートステイ花乃路 (管理者：松尾 慎也)	10 名
		保育所	花乃路保育園 (管理者：永松 貴美恵)	90 名
		小規模多機能型 居宅介護事業	小規模多機能型施設 ベイサイドわかまつ (管理者：石橋 健司)	登録 29 名 通い 15 名 宿泊 5 名
		認知症対応型老人 共同生活援助事業	グループホーム ベイサイドわかまつ (管理者：小田 晃一郎)	13 名
公益事業		有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム ベイサイドわかまつ (管理者：的場 秀人)	15 名
		老人デイサービス	デイサービスセンター ベイサイドわかまつ (管理者：上野 晃嗣)	10 名
収益事業		屋根賃貸 (太陽光発電売電)	特別養護老人ホーム花乃路 (管理者：竹井 辰介)	—

🌸 特別養護老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	17	17	17	16	15	15	
女性	78	80	80	77	81	77	
合計	95	97	97	93	96	92	
稼働率	90.0%	91.6%	88.3%	85.9%	87.9%	88.3%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	16	16	17	18	19	19	16.8
女性	77	78	77	78	78	77	78.2
合計	93	94	94	96	97	96	94.9
稼働率	89.1%	87.8%	88.1%	90.5%	92.5%	90.0%	89.2%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	87.8	87.9	87.9	87.7	86.9	87.0	
女性	88.3	88.2	87.9	87.6	87.6	87.4	
平均年齢	88.1	88.1	87.9	87.7	87.3	87.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	86.9	87.3	87.1	86.6	87.0	87.0	87.3
女性	87.6	87.6	87.4	87.7	87.7	87.7	87.7
平均年齢	87.3	87.5	87.3	87.2	87.4	87.4	87.5

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	1	1	2	2	3	4	
要介護2	7	7	7	5	5	6	
要介護3	34	34	34	34	36	34	
要介護4	38	40	38	36	36	33	
要介護5	15	15	16	16	16	15	
平均介護度	3.60	3.60	3.61	3.64	3.68	3.71	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	4	4	4	4	4	4	3.1
要介護2	7	8	8	9	10	9	7.3
要介護3	33	31	31	30	33	33	33.1
要介護4	34	34	35	35	32	32	35.3
要介護5	15	17	16	18	18	18	16.3
平均介護度	3.67	3.67	3.66	3.65	3.61	3.57	3.64

ショートステイ事業実績

1. 要介護者別利用者延数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	51	43	71	75	39	13	
要介護2	40	74	44	25	56	47	
要介護3	34	46	24	24	23	22	
要介護4	41	43	37	30	67	113	
要介護5	26	24	23	10	10	14	
要支援1	3	3	3	3	3	3	
要支援2	9	6	9	6	7	6	
合 計	204	239	211	173	205	218	
稼働率	68.0%	77.1%	70.3%	55.8%	66.1%	72.7%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	10	9	17	18	23	8	31.4
要介護2	22	24	25	17	31	35	36.7
要介護3	14	25	25	42	30	31	28.3
要介護4	146	121	121	115	61	72	80.6
要介護5	12	15	29	16	18	32	19.1
要支援1	3	3	3	3	3	3	3.0
要支援2	9	7	14	14	21	18	10.5
合 計	216	204	234	225	187	199	209.6
稼働率	69.7%	68.0%	75.5%	72.6%	66.8%	64.2%	68.9%

重点目標の振り返り

1. ケアの質の向上

新型コロナウイルス感染症による様々な制限から脱却していくなか、予防対策を行いながら、今まで中止していた居室面会等、ご入居者の活性化が図れるような取り組みを行って参ります。

令和6年度より、曜日制限、時間制限を設けながらではあるが居室面会を再開することができた。令和2年度より居室での面会を中止しており、その間、ご入居者およびご家族の方々には会えない期間が非常に長く感じられたことと考えられる。また、入居以降一度も居室面会することなく退所された方もおられたので、居室面会が再開できたことは職員一同嬉しく思っている。

居室面会を再開してからは、会食を伴わない外出も実施できており、ご家族との時間を共有することで、ご入居者の暮らしの活性化に繋がれたと実感している。

職員一人一人がご入居者との日々の対話を大切にし、ご入居者の尊厳が守られ、心穏やかに自分らしい生活ができるようなケアと接遇を目指します。

ご入居者の自律した暮らしの支援について、介護現場だけでなく多職種でケアを検討するケアカンファレンスの実施については、前年度よりも積極的に開催することが出来た。しかしながら、慢性的な人材不足から職員が日常業務に追われてしまい、ご入居者との対話時間が保てず、安全面を優先してしまい、ご入居者の求めるタイミングでのケアが困難な状況が見られ、寄り添うケアの充実に至らなかったと感じている。

ご入居者の暮らしを豊かにすることを念頭に置き、各部署が互いの役割と責任を果たし、協力しながら各種会議や委員会活動の内容を充実させ、組織的なケアの実現を目指します。

経営会議、看介護連携会議にて、管理者や部署長が運営方針やケアの課題、連携の課題点を協議し現場リーダーへ伝達、実践していく流れについては強化できたと感じている。各種会議や委員会活動の連携・連動について今後より一層高めていく必要があるとともに、花乃路のケアが目指す方向性を全職員が共有し、各種会議や委員会活動の目的を明確にすることを引き続き行っていきたい。

2. 職員の資質向上

OJT,OFF-JT を組み合わせた研修への積極的な参加を実施し、全職員の資質向上を行って参ります。

年間予定として計画した外部研修を実施し、予定以外でも各病院等が開催する研修会、定期的なフォーラムや各種外部研修への参加を積極的に実施することが出来たため、介護職員に限らず多職種の資質向上に繋げることが出来た。また、令和6年度は4月入職の新人職員に対してユニットに入る前の座学を実施したことにより、配属前に知識と心構えを備えて現場に入ることが出来たのではないかと考える。

現有職員、新規採用職員の定着が図れるような取り組みを実施し、積極的な求人活動を行うことにより、慢性的な介護職員不足の解消に努めます。

現有職員への定期的な面談を実施し、個人の業務に関する悩み相談や就業に関する問題解決を行い離職防止に努めてきた。しかしながら、4月新規採用職員のうち2名が年度途中で離職する形となり、特に介護経験の少ない人材に対して働きやすい環境整備や一貫性のある業務指導の在り方など、今後課題を残す形となった。

自己覚知を行うことによって接遇の向上を図り、ご入居者に何ができるかを常に考え、その時々で最善のサービスを提供できるように努めて参ります。

面会制限の緩和もあり、ご家族からの視点で見直す点がないか、サービス・生産性向上委員会を中心に協議・検討を行ってきた。ご入居者のプライバシーへの配慮や居室の整理整頓など、依然として様々な課題点があり、今後も介護、看護、栄養など多職種の視点からご入居者の暮らしをみつめ、課題点を挙げ、その都度ケースカンファレンスを実施し、サービスの見直しを行っていく必要がある。

3. 継続的な健全経営を確立

年度を通じて収支バランスの取れた健全経営を実践するため、稼働率92%以上を維持していけるように入退所調整を行います。また、各種病院、施設、地域への働きかけを強化し、待機者数の増加に向けた取り組みを行います。

今年度は上半期と下半期の両方ともプラス収支で経過することができた。稼働率については目標の92%には到達できなかったが、職員の人材不足がある中でも積極的な入居案内を行い、

収支のバランスを保ちながら安定した経営状況で推移することができた。他施設や病院などへの働きかけにより、新たな関係性を築くことができたように感じているが、入居待機者数の増加には至らなかった。開設17年目を迎え、施設設備の補修や備品買い替え等の経費が増加しており、今後も修繕補修費をある程度見込みつつ、できる限りの経費節減を行い、より安定的な経営を目指したい。

経営収支＝顧客満足度という意識を持ち、ご利用者、ご家族への対応を行います。

経営収支自体は令和6年度プラス収支となったものの、稼働率や入居申し込み数自体は伸びているわけではなく、一概に顧客満足度が向上したとは言えないと実感している。ご家族の面会が緩和したことで、施設外を車イスと一緒に散歩しご家族と一緒に写真を撮られる姿や、小さなお子様とふれあう機会が増え、多くの喜びの声をいただいた。今後もご入居者およびご家族から信頼されるケアを継続して行っていき、「この施設に入ってよかった」という声を沢山いただけるように努めていきたい。

地域活動への施設からの協力、参加を積極的に行い、地域に向けた発信ができるような活動等を実施し、地域との連携を深めて参ります。

地域行事に関しては、施設職員が代表して参加し交流の機会を得ることが出来たが、地域行事のお手伝い等、地域貢献を行う努力はまだまだ必要と考えている。今後はご入居者にも地域行事に参加していただけるような機会を探っていきたいと考えている。自治会やコミュニティセンターとの関係性を深め、当施設のことを知っていただく活動を増やしていきたい。



社会福祉法人 希耀會
特別養護老人ホーム

あやめ苑

特別養護老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	15	16	15	14	15	15	
女性	69	71	71	72	70	69	
合計	84	87	86	86	85	84	
稼働率	79.4%	79.9%	80.1%	78.3%	77.0%	78.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	16	18	20	19	19	18	16.7
女性	68	67	69	68	70	71	69.6
合計	84	85	89	87	89	89	86.3
稼働率	73.8%	81.5%	84.2%	85.2%	83.4%	83.6%	80.8%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	85.9	85.1	84.7	84.4	85.2	85.3	
女性	89.6	89.5	89.5	89.6	89.5	89.6	
平均年齢	87.8	87.3	87.1	87.0	87.4	87.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	84.2	84.9	85.1	85.1	85.1	85.0	85.0
女性	89.7	89.6	89.6	89.7	90.0	90.1	89.7
平均年齢	87.0	87.3	87.4	87.4	87.6	87.6	87.3

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	1	1	1	1	1	1	
要介護2	8	8	7	6	6	7	
要介護3	18	17	18	19	16	13	
要介護4	26	27	27	27	30	30	
要介護5	31	34	33	33	32	33	
平均介護度	3.93	3.98	3.98	3.99	4.01	4.04	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	1	1	1	1	1	1	1.0
要介護2	6	7	8	8	8	8	7.3
要介護3	12	12	11	10	12	14	14.3
要介護4	31	32	35	35	35	34	30.8
要介護5	34	33	34	33	33	32	32.9
平均介護度	4.08	4.05	4.04	4.05	4.02	3.99	4.01

重点目標の振り返り

1. 安全・安心な生活環境の確保

新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種感染症に対し、必要に応じて制限の緩和を図りながらも、予防対策の継続と対応力の強化に努め、安全・安心な生活環境の確保に取り組めます。

新型コロナウイルス感染症の類型が5類へと移行して1年が経過する中、安全の確保と制限緩和の関係性について、適切な答えが見出せない状況ながら年度を通じて対策に取り組んだ。

公的な助成が打ち切られたため規模としては縮小せざるを得なかったが、抗原検査キットをはじめとする感染症対策備品については従来通りに活用しながら日々の業務に努めた。

しかし、社会全体が予防意識への関心が薄れる状況の中、日常生活における職員の感染リスクも増す事となり、昨年度と比較して約3倍の感染者を出す結果となった。

また、施設内では昨年度と同様に2回ほどご入居者と職員が罹患し、いずれも10名を超すクラスターに発展したが、幸いにしてどなたも重症化するには至らず全員が回復された。

施設内発生時は初動対応の確実性に課題を残す面もあったが、その一方でクラスター発生時には管轄の保健所との連携により現在の対応内容で十分との評価も得られたという実績もあるため、今一度課題を整理した上で対策の維持および強化に繋げたい。

(令和6年度感染者数:入居者16名 職員32名 合計48名) ※令和5年度は合計15名

2. 多様な個別支援サービスの提供

ご入居者個々の特性に応じて、制限の緩和を含めた幅広い支援の在り方を模索しながら個別支援サービスを展開し、より満足度の高い生活を送っていただけるように努めます。

コロナ禍によって長らく閉鎖的な生活支援を余儀なくされてきたが、今年度は安全面に配慮しつつ順次生活の活性化に向けた取り組みを進めた。具体的には、ご家族の面会受入れ枠の拡大や居室面会の再開、小規模ながら外出レクリエーションの実施、ご家族同伴によるご入居者の外出機会の確保などであり、特に大きな課題も見当らなかったため、次年度以降は更に充実度が高まるように工夫を凝らしながら個別支援サービスの実施に努めたい。

3. 人材育成への取り組み

従来の義務研修などに加え、新たに実施や設置が求められる各種研修や委員会活動等について、創意工夫を凝らしながら取り組み、職員全体の資質向上につなげます。

介護報酬の改定年度に伴い、新たな実施が義務付けられた感染症 BCP(業務継続計画)研修および自然災害 BCP 研修や、生産性向上推進委員会などについて整備・実施に取り組んだ。感染症対応については実際に取り組んできた内容について課題整理をしながら比較の実効性の高い内容で実施は出来たが、自然災害対応については実際の災害がイメージしにくい面もあり、実際に起こり得る土砂災害を想定しながら研修の実施等に努めた。

また、生産性向上の推進については現在導入している情報通信機器のインカムについて効果的な活用法などを検証するなど、従来の法定研修や施設独自のストリーミング研修を含めて職員資質の向上に努める事は出来た。

4. 高品質サービスの提供に向けて

現在では最重要課題とも言える看介護職員の確保について、福祉機器の導入を含めた生産効率性の向上を図ると共に、働きやすさを実感できるような環境整備に適宜努め、適切な配置数を維持しながら、高品質サービスの提供へとつなげます。

看介護職員の採用については年々難しくなっているが、人員不足の期間を派遣職員で賄うなど、柔軟な補充策を講じながら充足を図るように努めた。しかし、人数の不足は解消したとしてもスタッフ間での連携については未だ手探りでやっている面もあり、チームワークの形成に課題が残った。

また、福祉機器の導入については必要に応じて最善の機器の新規購入や、適宜既存の機器との入れ替えを図りながら生産効率性の向上と職員の身体的負担の軽減に努めたが、最重要課題であった特殊浴槽一式の導入が果たせず、次年度に持ち越しとなっている。

5. 健全経営の確立に向けて

今般の介護報酬の改定内容を把握・分析し、適切な加算算定を行い収支バランスの更なる改善を目指します。また、6年毎に必要な事業の指定更新手続きに関しても滞りなく対応を行い、経営に支障をきたさぬように努めます。

4月に行われた介護報酬改定への対応については、新たなる加算が複数設けられたものの事務的な負担や他の関係機関との連携などが求められ、労力に見合った対価が得られないとの判断から、生産性向上推進体制加算という加算の取得に留まった。

また、前年度下半期から続く稼働率の落ち込みが今年度の上半期まで影響を受け、下半期は比較的回復したものの、年間を通じての稼働率は前年度実績を下回る結果となった。そのほか物価高騰や経年劣化による設備・備品の修繕などにも見舞われたが、主に支出面について精査を図りながら抑制に努めた事で業績は前年度を上回る結果となった。

6年毎の事業指定更新については滞りなく手続きを進め、無事に令和12年6月末日まで指定の認可が得られている。

6. 地域福祉の拠点となるために

徐々に再開されつつある地域行事への参画や、西十四区内で独自に実施している緊急時生活支援活動などを通じて、相互支援活動の更なる充実に取り組みます。

今年度も西十四区自治会への地域貢献活動として、特別会費を提供させていただいた。これまではコロナ禍による緊急時の生活支援を活動主旨の一つと位置付けていたが、感染症類型が引き下げられ現在の社会情勢にそぐわない状況となってきたため、「地域行事・環境整備等支援活動」という名目で、自治会内の行事と環境整備等に活用していただく事とした。

また、実際の地域行事に対しては未だ感染症予防の観点からご入居者の参加には至っていないが、行事の準備・後片づけや設備の提供などに協力させていただいた。

今後についても地域福祉の拠点として相互支援活動の充実に努めていきたい。



社会福祉法人 希耀會
複合型高齢者施設

ベイサイドわかまつ

住宅型有料老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	4	4	4	5	4	4	
女性	11	11	11	9	9	9	
合計	15	15	15	14	13	13	
稼働率	100%	100%	100%	93%	86%	86%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	3	3	3	2	3	2	3.8
女性	10	10	10	11	11	13	11.0
合計	13	13	13	13	14	15	14.8
稼働率	86%	86%	86%	86%	93%	100%	91.8%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	82.8	82.8	82.8	83.5	83.5	83.5	
女性	87.7	87.7	87.8	88.1	88.1	88.1	
平均年齢	85.1	85.1	85.3	85.3	85.3	85.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	83.5	83.5	83.5	85.3	85.3	85.3	83.8
女性	88.1	89.1	89.1	89.1	89.1	89.1	88.4
平均年齢	85.3	87.2	87.2	87.2	87.2	87.2	86.1

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
自立	1	1	1	1	1	1	
要支援1	0	0	0	0	0	0	
要支援2	0	0	0	0	0	0	
要介護1	6	6	6	7	6	7	
要介護2	7	7	6	4	3	3	
要介護3	0	0	1	1	1	0	
要介護4	1	1	1	1	1	1	
要介護5	0	0	0	0	1	1	
平均介護度	1.6	1.6	1.67	1.46	1.60	1.46	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
自立	1	1	1	1	1	1	1.0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	7	6	6	8	9	9	6.9
要介護2	3	4	4	2	2	3	4.5
要介護3	0	0	0	0	0	0	2.5
要介護4	1	1	1	1	1	1	6.6
要介護5	1	1	1	1	1	1	0
平均介護度	1.46	1.53	1.53	1.40	1.47	1.60	1.53

グループホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男 性	0	0	0	0	0	1	
女 性	17	17	17	15	14	15	
合 計	17	17	17	15	14	16	
稼働率	94%	94%	94%	83%	77%	88%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男 性	0	0	0	0	0	0	0.08
女 性	17	16	17	18	18	18	16.5
合 計	17	16	17	18	18	18	16.6
稼働率	94%	88%	94%	100%	100%	100%	92.1%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男 性	0	0	0	0	0	93	
女 性	88.4	88.9	88.6	88.2	87.9	88.4	
平均年齢	88.4	88.9	88.6	88.2	87.9	88.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男 性	0	0	0	0	0	0	93.0
女 性	88.7	88.9	88.7	88.8	88.8	89.3	88.6
平均年齢	88.7	88.9	88.7	88.8	88.8	89.3	88.7

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	1	1	1	1	1	1	
要介護2	7	7.9	8.6	8	7	6.8	
要介護3	6	6	6	5.1	5	7.5	
要介護4	2	2	2	2	0.5	1	
要介護5	1.9	0.8	0	0	0	0	
合計(延数)	537	550	529	499	435	488	
平均介護度	2.82	2.64	2.51	2.50	2.36	2.52	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	1.3	1.5	2	1	1	1	1.2
要介護2	6	5	5	5	5	4	6.4
要介護3	7	8	8.3	10.6	11	11.5	7.7
要介護4	1	1	1	1	1	1	1.4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0.3
合計(延数)	479	466	505	544	504	545	6,168
平均介護度	2.50	2.55	2.51	2.66	2.67	2.71	2.59



小規模多機能型ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男 性	7	7	7	7	7	7	
女 性	21	20	19	21	22	22	
合 計	28	27	26	28	29	29	
稼働率	95.5%	93.1%	89.6%	96.5%	100%	100%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男 性	7	7	6	5	4	4	6.3
女 性	22	22	23	23	25	24	22.0
合 計	29	29	29	28	29	28	26.3
稼働率	100%	100%	100%	96.5%	100%	96.5%	97.3%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男 性	84.9	84.9	85	85	85	85	
女 性	85.6	85.6	85.7	84.8	85.1	85.2	
平均年齢	85.4	85.4	85.5	84.9	85.1	85.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男 性	85.1	85.1	84.3	85.2	88.7	88.7	85.6
女 性	85	85.2	85.2	85.3	84.7	84.8	85.2
平均年齢	85	85.2	85	85.3	85.3	85.4	85.2

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	7	7	6	6	6	5	
要介護2	4	3	3	3	3	4	
要介護3	5	5	5	7	7	8	
要介護4	8	8	8	9	10	9	
要介護5	4	4	4	3	3	3	
合 計	28	27	26	28	29	29	
平均介護度	2.93	2.96	3.04	3	3	3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	6	4	4	4	8	7	5.8
要介護2	4	4	3	3	5	6	3.8
要介護3	8	8	6	6	6	5	6.3
要介護4	10	11	12	12	9	9	9.6
要介護5	2	2	4	3	1	1	2.8
合 計	29	29	29	28	29	28	28.3
平均介護度	2.9	3.1	3.31	3.25	2.65	2.67	3.0



地域密着型デイサービス事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	48	56	47	68	53	52	
女性	160	178	153	169	128	148	
合計	208	234	201	237	181	200	
稼働率	80.0%	90.0%	80.0%	87.8%	69.6%	80.0%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	49	59	53	59	65	70	56.5
女性	165	166	158	157	148	165	157.9
合計	214	225	211	216	213	235	198.1
稼働率	79.3%	86.5%	84.4%	86.4%	88.8%	90.4%	83.6%

2. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1	0	0	0	0	0	0	
要支援2	0	0	0	0	0	0	
要介護1	60	66	55	63	39	98	
要介護2	101	109	91	96	79	70	
要介護3	37	45	44	50	39	33	
要介護4	2	6	2	16	20	0	
要介護5	8	8	9	12	4	13	
利用者延数	208	234	201	237	181	200	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	98	94	78	87	85	79	902
要介護2	70	67	71	64	61	88	967
要介護3	24	28	31	28	23	20	402
要介護4	9	10	11	11	10	11	108
要介護5	13	26	20	26	31	34	204
利用者延数	214	225	211	216	213	235	2,583

重点目標の振り返り

1. 地域に根差した包括的支援を目指します

- 令和6年度はデイサービス、小規模多機能ホームの二つの通所事業所において26名の新規ご利用者をお迎えした。この二つの通所事業所が「介護サービスの入口」、先ず初めに高齢者施設をご利用になることになるのでバイサイドわかまつの中でも重要な事業所となる。そこからご利用者のご自宅での生活状況、認知症の状態によって同一建物内の住宅型有料老人ホーム、グループホームをご利用頂くなど複合型施設の利点を十分に生かした。
- 地域密着型施設として各種ボランティアの受け入れ、あるいは各地域行事にご利用者の方々も参加するなど、地域の方々のご協力のもと楽しい時間を過ごすことが出来、ご利用者の生活にも潤いと彩りを与えて頂いた。

- ・定期的に地域の方々をお招きし「運営推進会議」を開催。その中で施設の活動報告や事例検討会を行い、地域の介護に対するお困りごと等、あらゆる情報の共有を行った。引き続き地域との関係性を重視した施設運営を行いたいと考える。

2. 職員の教育及びサービスの質の向上を目指します

- ・人材育成に取り組み離職率低下に努めるという目標について、今年度は3名の方が退職(いずれもパート職員)し、離職率は6%と目標であった一桁に抑えることが出来た。
- ・資格取得サポートにおいても、小規模多機能ホームの介護職全員が「介護福祉士」の国家資格の取得をしており、グループホームにおいても全員の「認知症介護実践者研修」受講を目指している。
- ・毎月、職員の持ち回りで施設内研修(勉強会)を実施。施設外の研修にも積極的に参加を推奨し、そこで得た知識や情報を担当職員が講師となり、アウトプットすることにより自身のさらなる知識習得、他の職員との情報共有もできるメリットがあると考えます。

3. 安定した経営環境を構築し、地域福祉の向上に努めます、職員の教育及びサービスの質の向上を目指します

- ・先般、光熱費、あらゆる物価高騰の中、全職員で知恵を絞り、工夫をして経費の削減を行い収益の確保に努めた。
- ・新型コロナ感染症をはじめ、あらゆる感染症に対策を講じ、例え発生したとしても感染対策の初動をスキーム化し最小限の拡大に抑え込むことが出来た。
- ・災害発生時の備え、備蓄品の整備を行ってきたが、ご利用者・職員の分はもとより、地域住民の方の分も揃え、万が一の場合、地域住民の方のお受入れ、一時避難所等、地域の拠点になるようしっかりと備えたい。

総 括

令和6年度も収益的には確保できたが、光熱費、物価高騰、人件費の高騰と運営面ではかなり厳しい状況であった。当面この状況が続く事を想定し安定した稼働率の維持、収入確保はもちろんの事、支出面での経費の見直し、人員の適正化はマストである。

また、感染症のリスクも完全に収束した訳ではないので引き続き万全な感染症対策を講じ、ご利用者に対して安全・安心な環境を常に提供しなければならないという責任の下行動する。地域密着型施設として、地域との関わり関係性を重視しあらゆる地域行事(7月のソーメン流し大会、12月の餅つき大会等々)に参加をさせて頂いた。そこでのご利用者の皆様方の楽しそうな表情は普段見ることの無い非常に良い表情であった。地域行事はもちろんの事、感染症対策を講じながら徐々に外出の機会も増えた。

ともすると、変化の乏しい施設生活になりがちだが、季節のイベント等を積極的に実施し、ご利用者の満足度を上げるとともに、「選ばれる施設」になれるよう今期も精進したい。



社会福祉法人 希耀会

花乃路保育園

保育園事業実績

1. 入園児人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	6	7	7	9	10	13	
1歳児	16	16	16	15	15	15	
2歳児	18	17	17	17	17	18	
3歳児	20	20	20	20	20	20	
4歳児	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	
5歳児	15	15	15	15	15	15	
合 計	94(1)	94(1)	94(1)	95(1)	96(1)	100(1)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	13	13	13	15	15	15	136
1歳児	15	15	15	16	16	16	186
2歳児	18	18	17	18	18	18	211
3歳児	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	228(12)
5歳児	15	15	15	15	15	15	180
合 計	100(1)	100(1)	99(1)	103(1)	103(1)	103(1)	1,181(12)

2. 延長保育人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	0	0	0	0	0	0	
1歳児	1	1	1	1	2	1	
2歳児	2	3(1)	3(1)	4(2)	3(1)	3(1)	
3歳児	3	3	3	3	3	2	
4歳児	7	9	7	7	7	7	
5歳児	1	2(1)	1(1)	2(1)	2(1)	2(1)	
合 計	14	18(2)	15(2)	17(3)	17(2)	15(2)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	1	0	0	0	0	1
1歳児	1	1	1	1	1	1	13
2歳児	3(1)	4(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	37(12)
3歳児	2	2	2	2	2	2	29
4歳児	7	7	6	6	6	6	82
5歳児	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	22(11)
合 計	15(2)	17(2)	14(2)	14(2)	14(2)	14(2)	184(23)

* () 短時間保育児



3. 一時保育人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	1	0	0	0	0	0	
1歳児	7	14	0	0	4	0	
2歳児	0	0	0	0	0	9	
3歳児	0	0	0	0	0	0	
4歳児	0	0	0	0	0	0	
5歳児	0	0	0	0	0	0	
合 計	8	14	0	0	4	9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	0	0	0	1
1歳児	0	0	0	0	1	0	26
2歳児	8	12	12	0	0	0	41
3歳児	0	0	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0	2	2
合 計	8	12	12	0	1	2	70

令和6年度重点目標

1. 保育の質の向上

- ・子どもが様々な人と出会い、関わり、心を通わせる経験を重ねることができるよう、乳幼児期にふさわしい生活の場を提供します。
- ・生命の保持と情緒の安定を図り、安心感と信頼感の得られる生活の中で身近な環境への興味や関心が高まるよう、こどもの活動を支えます。
- ・子どもと共に保育環境を構成しながら、保育園での生活全体を通して保育の目標が達成されるよう努めます。

2. 職員の資質向上

- ・人材の確保と定着につながるよう、保育士等の処遇改善及び働き続けられる職場づくりや保育実習生の受け入れ体制づくりに努めます。
- ・倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって保育を行うと共に、保護者との信頼関係の構築に努めます。
- ・保育を取り巻く社会状況の変化を踏まえつつ、充実した研修を行うと共にキャリアアップの対象研修の受講をすすめます。

3. 危機管理・安全対策

- ・感染症の集団発生予防に努め、感染症に対する正しい知識や情報に基づく感染予防の為の適切かつ迅速な対応に留意します。
- ・災害時による発生リスクを最小限にとどめ、事業の継続や早期再開を図るため、体制や活動内容の明確化を「事業継続計画」に基づき、全職員に周知を図ります。

4. 子育て支援

- ・育児に関する様々な不安や悩みを聞き相談に応じたり、子育て支援に関する情報提供を行ったり虐待等の早期発見に努めます。
- ・地域の保護者に対して、保育の専門性を生かした子育て支援(一時預かり事業・子育て電話相談・地域交流会等)を積極的に行います。

🌸 重点目標の振り返り

子どもたちにとって安全・安心な場所であるべき保育所等において、児童を擁護すべき保育士による児童虐待の事案や家庭内の児童虐待及び死亡事案等々、倫理観の欠如が問われる重大な事案が継続して報じられています。子どもたちを取り巻く環境が脅かされる中においても、花乃路保育園が子どもにとって幸せな場所であり続ける為に、4つの重点目標に基づき保育を展開しました。「保育の質の向上」では、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切に保育を展開しました。「職員の資質向上」では、人権擁護のためのセルフチェックリストを用いて、子どもを尊重する保育のために保育士等が専門職として、さらなる質の向上を図っています。「危機管理・安全対策」では、地震及び火災による被害を最小限に抑えるための訓練のほか、不審者対応、午睡時の災害想定、早朝・延長保育時の対応等様々な災害を想定した訓練を行いました。「子育て支援」では、育児に関する様々な不安や悩みを聞き相談に応じたり、子育て支援に関する情報提供を行いました。今後も、子育て家庭の皆様から選んでもらえる保育園として職員一同研鑽してまいります。



花乃路保育園 事業活動報告（令和6年度）

実施月	外部研修	人数	内部研修	人数
4月	子どもの言葉を豊かにする研修	1人	・保育目標及び専門職としての目標 ・人権研修	16人
5月	*乳児保育研修	1人	・食育活動（調理室より）	16人
	実習指導者担当研修	1人	・人権研修	
	*主任級保育士研修	1人		
	*乳児保育研修	1人		
6月	*幼児教育	1人	・食に関する事例・子どもの育ち	15人
	*主任級保育士研修	1人	・人権研修	
	*保健衛生安全対策研修	1人		
	*乳児保育研修	1人		
	若松ひまわり学園勉強会	1人		
	安全管理研修	1人		
7月	地域子育て支援研修会	1人	・5歳児・4歳児の保育環境	
	*主任級保育士研修	1人	・人権研修	14人
	第1回給食献立伝達研修会	1人		
	リーダー研修会	1人		
	*保育ゼミナール研修	1人		
8月	若松ひまわり学園勉強会	1人	・ボードゲーム研修会	
	*保育ゼミナール研修	1人	・人権研修	13人
	*障害児保育研修	1人		
	児童虐待対応研修	1人		
	子育てを考える会	2人		
	九州保育3団体研究大会	1人		
	*障害児保育研修	1人		
9月	*保育ゼミナール研修	1人	・3歳児の保育環境	
	*障害児保育研修	1人	・人権研修	13人
	カウンセリング研修	1人		
	相談員研修会	1人		
	保育士会研修研究大会	1人		
	子どもの言葉を豊かにする研修	1人		
10月	*幼児教育研修	1人	・ヒヤリハットについて（園長講話）	14人
	全国保育研究大会（奈良）	1人	・人権研修	
11月	*幼児教育研修	1人	・2歳児の保育環境	
	*保健衛生安全対策研修	1人	・人権研修	13人
	第2回献立伝達研修会	1人		
	北九州市小児保健研究会	1人		
	領域（健康・人間関係）研修	1人		
	食事に関する研修会	1人		
	北九州市保育研修大会	6人		
	施設長特別研修	1人		
12月	保育所園長研修	1人	・1歳児の保育環境 ・人権研修	15人
1月	保育所職員専門研修会	1人	・0歳児の保育環境	14人
	調理員研修	1人	・人権研修	
	保育所職員総合研修大会	1人		
2月	保育士研究研修会	1人	・丁寧な保育とは（園長講話）	
	保育セミナー2024	1人	・人権研修	17人
	子育てを考える会	2人		
	役員・施設長研修	1人		
3月	人権研修	1人	・自己評価	17人
	遊びが広がる研修	1人	・人権研修	

* → キャリアアップ研修 ● → オンライン研修

年間行事

実施月	行事名	【地域行事】 ・スプリング コンサート ・水遊び ・わらべうた遊び ・キッズマジック ショー
4月	第14回入園・進級式・芋の苗植え・園児内科健診	
5月	親子遠足・スプリングコンサート・シルエット劇場(年長児) 「ゴミ0の日」清掃活動	
6月	4・5歳児歯科検診・夏野菜の苗植え・保育参観週間 プラネタリウム見学(年長児)	
7月	プール開き・七夕まつり・おひさまのいえお泊り保育(年長児) 五平太みなと祭り(年長児)	
8月	夏野菜の収穫・お祭りごっこ・プール納め・新1年生同窓会	
9月	敬老の日(花乃路訪問)・冬野菜の種まき	
10月	園児内科健診・第14回運動会・保護者個人懇談会・秋の幼児五平 太ばやし発表会(年長児)・ハロウィンパーティー	
11月	総合避難訓練・芋掘り・焼き芋パーティー・わらべうた	
12月	第14回生活発表会・クリスマス会・冬野菜の収穫	
1月	キッズマジックショー	
2月	豆まき・保育参観週間・お買い物体験(年長児)	
3月	ひな祭り会・お別れバイキング・第14回卒園式・修了式	

※ 毎月の活動【誕生会・身体測定・避難訓練・4・5歳児体操教室・食育活動】

- ・ 特別養護老人ホーム「花乃路」との交流はできませんでしたが、窓越しに手を振るなど、運動会の様子や園庭での遊びの様子をご覧いただいております。
- ・ 給食試食会を手づくりおやつ試食会「ティータイム」を15:30～18:00に行いました。
- ・ 地域の子育て家庭の親子対象、給食試食会を行いました。

実習生等受入れ実績

実習依頼養成校	実習期間	参加人数
九州産業大学(3年生)	8/19～8/29	1名(教育学科)
東筑紫短期大学(2年生)	8/19～8/29	1名(保育学科)
近畿大学九州短期大学(3年生)	10/15～10/25	1名(通信教育)
九州女子短期大学(2年生)	12/9～12/19	1名(子ども健康学科)
九州女子大学(2年生)	2/12	2名(幼児教育学科)